

校長室通信



南小国町立南小国中学校

令和元年9月6日(金)No15

文責 狭間卓史



道標 (みちしるべ)

令和最初の夏休み。ご家庭の皆様方にこの夏の本校生徒の様子をお伝えしたいと思いながら(ホームページでは少しだけお伝えはしたのですが)、気がつけば学校は第2ステージに入り、既に二週目が経過してしまいました。

そこで今号は、「夏の思い出」として、本校生徒の夏休み中の様子をお伝えします。

まず、7月27日(土)に、宇土市にて県中体連大会卓球大会が開催され、本校卓球部が阿蘇郡市の代表として団体戦に出場しました。緊張する雰囲気の中、精一杯の力を出し切ろうと懸命にボールを追う姿が、何ともいえず素敵でした。残念ながら強豪校相手に勝ち上がることは叶いませんでしたが、卓球と精一杯向き合ってきた結果としての県大会出場であり、その場に身を置けたことを何よりも喜んでほしいと願うばかりでした。



【最高の場所】

また、その日には、熊本市の県立劇場で県吹奏楽コンクールが開催され、本校吹奏楽部が出場しました。一発勝負の演奏という場面で、これまでで最高の演奏をつくろうと、まさに格闘する生徒の姿がそこにはありました。舞台上での凜とした姿は本当にまぶしく輝いていました。私もその演奏を聴かせてもらったのですが、これまでで一番の出来映えだったと思っています。銀賞(あとわずか4点で金賞だったそうですが)も受賞でき、何よりの結果となりました。吹奏楽部は、8月9日(金)に開催された熊本県マーチングフェスティバルにも阿蘇郡市の他の中学校と合同で参加しました。開会式から閉会式まで全て参観させてもらいましたが、限られた練習時間だったにもかかわらず、会場を堂々と演奏する姿にわくわくさせられました。顧問の山口からは、本校吹奏楽部はこのマーチングフェスティバルへの参加をととても楽しみにしていると聞かされていましたが、生徒のはつらつとした姿や、はじける笑顔を眺めていると、その理由があらためてわかる気がしました。



【颯爽と】



【思い出の花火】



次に野球部です。8月10日に開催された阿蘇郡市ライオンズ旗中学野球大会に出場し、見事、優勝しました。この大会は郡内の各学校とも新チームに移行しての最初の大会です。6月に開催された阿蘇郡市中体連大会の決勝戦まで進み、あと一歩で優勝というところまで迫った前チーム(三年生)の思いを受け継いだチームにとって、幸先のいいスタートとなりました。

【受け継ぐ】

その他にも、陸上部は通信陸上県大会やジュニアオリンピック県予選に出場し、日頃の練習の成果を発揮しようと奮闘してくれました。また、陸上に関しては、夏休み期間を通じて、9月10日(火)に開催予定の阿蘇郡市陸上中体連大会に向けた練習にも取り組んでくれました。この大会に関しては、陸上部だけでなく、各学年の代表を加えての取り組みとなりますが、夏休み中にもかかわらず、担当職員ともども毎朝7時30分から練習する姿には、眺めているだけの私が元気をもらえる時間でした。

どの活動においても、三年生が残してくれた姿や思いが、その後を受け継ぐ下級生にとっては何よりの道標になることだと思っています。

部活動以外にもお伝えしたい生徒の姿がありますので、それは次号で紹介させていただきます。



【積み重ねる】